

Ⅲ.理事会と主要活動総括

2022年度RCAの活動は、一昨年同様コロナ禍の影響により制約を受けましたが、そんな中でも、従来からの各種活動に加え、RCA内はもとよりまちづくりに関わる各種関係団体等との意見交換・検討会等を実施し、各種活動を進めてきました。以下主だった検討会等の状況と、そのような状況下でも、議論等を踏まえ昨年度重点的に活動した事項等について報告いたします。

1. 各種検討会等

(1) 理事会

毎月第三土曜日に、理事、監事、事務局が出席し、各専門委員会等からの活動報告や各事業計画、予算執行等の審議を実施しています。理事会での報告、審議内容については、議事録を作成し、適宜各丁目選出理事を通して各丁目自治会等へ展開共有しています。昨年度も引き続きコロナ禍の影響により、ZOOM活用による各理事リモート参加の併用により、毎月開催実施することができました。



(2) 専門委員会及びWG検討会の開催

RCA内の各専門委員会で個別の活動計画策定や企画実行推進のための会合を適宜実施しました。RCA全体に関わる検討課題等については、ワーキンググループ(WG)検討会を結成し、理事会にかける事前検討会として毎月開催実施しました。

(3) フェリス女学院大学学生との連携

昨年5月から9月にかけて、フェリス女学院大学の授業「都市生活の空間デザイン(緑園都市の地域まちづくり)」に関係理事が参加し、RCAの活動内容やまちの課題等について学生に紹介しました。また「駅前活性化」や「四季の径有効活用」「RCA広報企画案」等のテーマで、受講の全学生に提案要請を行い、16の提案をいただきました。結果については、今後関係団体等との共有はもとより、住民各層を巻き込んだまちづくり企画活動へ発展させてゆきたいと考えております。

(4) 相鉄グループとの連携

隔月第二土曜日を基準に、相鉄グループとRCAの定例意見交換会を実施しました。西小後利用への相鉄グループとしての取り組み等とも可能な限り連携し、さらに駅前スペースの有効活用含めた駅前活性化企画の実現へ向けた取り組み等、より良いまちづくりのための意見交換や具体的対応等を行いました。

2. 緑園都市駅前の活性化プロジェクト活動報告

(1) 既存店舗の活性化活動報告

これまでの経緯からフェリス女学院大学の「都市生活の空間デザイン(緑園都市の地域まちづくり)」の授業の枠組みから端を発した、学生と一部と既存店舗を巻き込んだ活動を継続実施中です。今年は駅前広場での学生と店舗が連携したプロモーション販売等実施し、これまで以上の成果を出し、その活動内容はタウンニュースでも紹介されました。RCAは相鉄グループと協力して本活動の推進支援を実施しています。

(2) 駅前周辺スペースを活用した活性化企画案検討調整

これまで住民や学生から要望が多かった、「住民各層や学生が集う場・機会創出」のために、ローゼン前広場や駅前周辺スペースを活用した、ワゴン企画等の緑園風トライスタンド的な定常的な駅前活性化企画について、相鉄グループと意見交換中です。今後住民各層や学生にニーズ調査を実施し、その実現に向けて取り組んでまいります。

(3) 駅前緑化推進へ向けた取り組み

緑園都市駅はまさに緑園の玄関口です。その玄関口をいつも緑と花であふれるまちにしようという趣旨のもと、緑化推進委員会が「緑園花と緑の会」を住民から会員を募り2020年6月より活動を開始しました。

その後、駅周辺プランター・既設花壇の管理、植栽刈剪定・除草・清掃作業のほか、駅東口、西口花壇の管理、駅東口ロータリー花壇の新設やチガヤの撲滅等、活動の幅を広げ、継続的に活動を行っています。

3. 横浜市立緑園西小学校の後利用

2022年10月に行政より旧緑園西小学校の後利用に関するアンケートの調査結果が公表されました。そこでは、緑園をはじめとした周辺の各地域からの要望が集計され、最後に行政の意向として「民間事業者による活用を基本とする」とされているだけで、最終決定は未決とされています。

4. NPO法人化にかかる各種検討

今後のRCAについて、緑園における持続可能な組織のあるべき姿とはどのようなものか、内部で議論を重ねました。具体的には、今一度RCA業務や諸活動の内容を吟味して、必要ならば街の関連諸団体等との関係性も見直し、それらを会則等に反映させるとともに、今の組織の在り方そのものの変更も視野に入れて検討を進めてきました。その結果、NPO法人化することが解決策の第一歩になるだろうという結論に至った次第です。

今度は、その内容を住民の方々に理解してもらう必要があります。そのため、この半年ほどかけて、連合自治会や各丁目の自治会に対して説明会の開催を呼びかけ、概ねご理解を頂けたものと考えています。

また、そこで参加者の皆様からRCAに寄せられた多くのご提案については、将来の見直し等の過程で十分に考慮させていただく予定です。

IV.取組んだ活動について

1.快適で安全な居住環境の維持・創造に関する活動

《 緑化推進活動 》

緑化推進活動として「私たちのまちを緑と花のあふれるまちにしましょう！」を合言葉に下記の活動を推進致しました。

駅前活性化プロジェクトの一環として「緑園花と緑の会」は3年目を迎えました。



(1)「花壇の維持管理(年間)」と「花の植替え活動」の推進

地域のメイン通りや共用施設にある花壇とプランターに花苗の提供と支援を行いました。

- ①四季の径遊歩道の花壇 : RCA緑園花と緑の会及び有志による植替え(5月、10月)と水やり(年間)
- ②駅前東・西花壇及びプランター : RCA緑園花と緑の会による植替え・水やり(年間)
- ③集会施設花壇 : 緑友会による自治会館・クラブハウス花壇植替え(5月、10月)
- ④駅西口ロータリー : RCA緑園花と緑の会による植替え・水やり・除草・剪定(年間)
- ⑤駅東口ロータリー : RCA緑園花と緑の会による植替え・水やり・除草・剪定(年間)

(2)「花の頒布会」の開催(緑園学園交流広場)

開催案内チラシを地域住民に回覧、各自治会掲示板への掲示にご協力いただき、春・秋の2回開催しました。

① 春の頒布会(5月28日)

- ・2022年4月に開校した緑園学園交流広場で初めて開催
- ・来場者:242世帯、頒布数:3,357株
- ・緑園学園へ200株寄贈
- ・四季の径花壇へ90株、クラブハウス・会館花壇144株寄贈

② 秋の頒布会(10月22日)

- ・緑園学園交流広場で開催
- ・来場者:215世帯、頒布数:3,086株
- ・花の品質の向上と種類の充実のため価格改定(頒布価格:70円⇒100円)
- ・グレードアップ花苗コーナー(頒布価格300円)、園芸グッズコーナーを新設
- ・緑園学園へ240株寄贈
- ・四季の径花壇へ120株、クラブハウス・会館花壇202株寄贈



2022年春の花の頒布会



2022年秋の花の頒布会



秋に新登場のグレードアップ花苗コーナー



同じく新登場の園芸グッズコーナー

(3) グリーンバンク制度(花木のリサイクル)の推進(通年活動)

住民のみなさまの家庭等で増やした花や球根あるいは不要になった樹木等を、必要な家庭に提供するために、春と秋の花の頒布会でブースを設けたほほか、事務局開局日にお預かりして、必要とする方に無償提供しました。

(4) 園芸用品の活用

①園芸道具の貸出し(通年):希望の会員のご家庭に無料で貸出を行いました。

※道具の種類:高枝バサミ、芝刈り機、薬剤噴霧器、脚立、刈込バサミ、鋸、シャベル、草刈り機等。

②プランターの貸与(通年):RCAオリジナルプランターの在庫分貸与と不要分の回収の受付を随時行いました。

(5)「RCA緑園花と緑の会」発足から3年目の活動

緑園都市駅前を花と緑で整備し、地域の玄関口の活性化を図ることを目的として、相模鉄道株式会社様との覚書沿って策定した年間計画に基づき、2022年度会員16名で活動を行いました。

①駅東口ロータリー花壇の新設、管理

②駅東口・西口花壇の管理

③駅周辺プランターの管理

④植栽樹の剪定・除草

⑤チガヤの撲滅

⑥駅周辺の落ち葉等の清掃

(①～⑥は毎月第二金曜日に共同作業で実施、毎週月・水・土は2名交代の水やり・見回り作業)



駅東口ロータリー花壇の新設



植栽樹の剪定

上記のほか、下記活動を行いました。

⑦緑園学園三年生の校外授業で、駅前での活動の説明を行いました。

⑧「相鉄線・東急線清掃でもつながる！」キャンペーン(横浜市主催)に11名が、諸団体とともに参加しました。

⑨緑園都市駅長様交代に伴い、駅前花壇等緑化活動引継ぎ会議を行いました。

⑩緑園都市駅周辺の改善を連携し取り組み、高木剪定や駅舎清掃等が相模鉄道株式会社様により実施されました。

⑪緑園都市緑化推進クラブの活動に参画しました。

(毎月第三日曜日9:30～定例会、2023年2月「ハンギングバスケット講習会」に4名参加)

(6) 緑園都市緑化推進クラブの活動

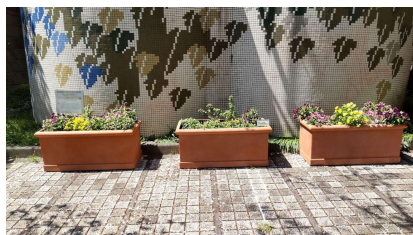
RCAが協賛している『緑園都市緑化推進クラブ』の活動を紹介します。

『緑園都市緑化推進クラブ』は横浜市の地域緑のまちづくり事業“の助成金を活用し、四季の径を中心とした緑園3丁目、4丁目、6丁目地域の緑化を令和3年4月から総額予算1,500万円の助成を受け緑化を進めています。

最終年度である令和5年も引き続き緑化推進をしてまいります。

[2022年度の補助事業実績例]

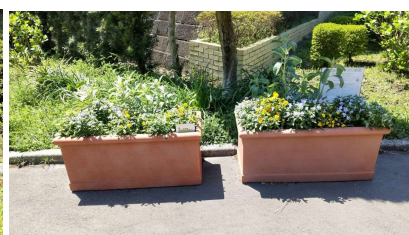
①四季の径 プランター緑化



春ゾーン



夏ゾーン

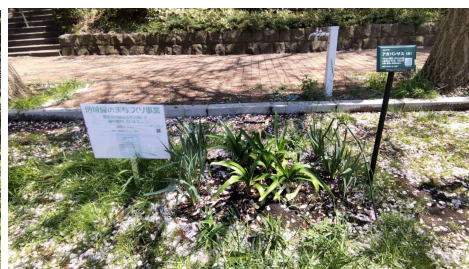


秋ゾーン

②四季の径 植え込み緑化

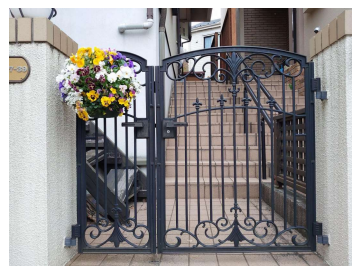


冬ゾーン三丁目側



冬ゾーン 四丁目側

③ハンギングバスケット講習会を実施し、四季の径や玄関に置きました。



《 まちづくり・環境整備活動 》

(1) 安全・安心・温かいまちのために

住民が安全で安心して暮らせる住宅地を実現するため、継続して下記の活動に取り組みました。



① 防犯カメラの増設と維持管理活動

- ・緑園学園の通学路新設に伴い、サン・ステージ緑園都市西の街の協力で、四季の径横の敷地に防犯カメラ2台を増設し通学路の見守り活動に貢献。

- ・従来の8台は駅東西出口4台、四季の径歩道トンネル付近2台、1丁目遊水地周辺2台の計8台の保守管理に努めました。

また、犯罪事件発生に基づく警察からの画像の協力要請に対しましては、引き続き「防犯カメラ等運用細則」に基づき対応致しました。



新設した通学路の防犯カメラ



緑園都市駅東口 交番方面



緑園都市駅西口 3丁目方面



緑園学園通学路 四季の径トンネル横階段付近



モニター画面(事務局内)

②「青色回転灯搭載防犯パトロールカー」(通称:青パト)の推進
(「緑園地区防犯パトロール協議会」との協働推進)

青パトは、安全で快適なまちを推進する一環としてRCAが計画立案して立ち上げ連合自治会と連携した組織「緑園地区防犯パトロール協議会」に対し車両を含む活動拠点(RCA事務所)を提供、活動を支援しています。

【2022年度の主な活動】

- ・書面総会の議案書(事業報告・決算報告・事業計画・予算(案)の配布
- ・上記議案書に関する質問・意見用紙配布・回収
- ・上記議案書に関する質問・意見書に対する答弁書配布
- ・会報による採決結果報告(以上4月)
- ・徒歩による見守り実施(通年)
- ・隊員向けの会報を発行し、防犯情報の共有化を図る(通年)
- ・隊員有志の車両による活動を再開し、小学生の下校時間帯の見守りを実施(9月～3月)
- ・アンケート調査実施
- ・年末防犯決起集会参加(12月)



※RCAでは、青パト隊員によるパトロールとは別途、月・水・金曜日に車両による独自のパトロールを実施致しました(年間)。

(2)美しいまちのために

(環境整備)

①まちの顔(緑園都市駅前・四季の径)を美しく

- ・年末一斉清掃(緑園連合自治会と共催)

例年12月に実施していた一斉清掃は、新型コロナウイルス感染防止のため前年に引き続き中止とし、代わりに各自治会に活動をお願いしました。

- ・「四季の径」の除草・落ち葉の回収

遊歩道を気持ちよく歩けるよう行政が行う年2回とは別に業者に委託していますが、前年実施を控えたこともあり、雑草が課題となる夏場の9月に実施いたしました。



9月に草刈りを実施
(泉土木が実施の中間期)



六丁目交差点 ツツジの強剪定を実施
※見通しが良くなり安全性が向上

② 地域グループの清掃・美化活動への協力・支援

集会場花壇の管理や駅周辺道路の清掃活動をしている南・北緑友会を支援しました。

③「緑園まちづくりガイドライン(紳士協定)」

遵守の協力依頼

緑園の住環境・景観維持のための自主基準としてのガイドラインの周知に努めました。

緑園住宅地の中で行われる新築・改築の際、建築主や業者にガイドラインの内容を説明し、協力を要請しました。



④「住まいのまちなみ賞」受賞に伴う活動

(広報活動、緑園学園交流、四季の径緑化推進)

「住まいのまちなみ賞」を受賞し2年目になります。今年度の助成金50万円を有効に活用するため、フェリス祭での広報活動や以下の活動を実施しました。

■横浜市立大学との協業

昨年全戸アンケートでお世話になった横浜市立大学齋藤研究室と検討会・街歩きなど今年度も継続。

これまでの活動内容をまとめた論文も発行されました。

https://www.istage.ist.go.jp/article/journalcpj/57/3/57_1333/pdf

昨年度のアンケートで明らかになった転入者への情報不足は広報活動を強化しつつあります。

(写真は学生の方々と検討会)

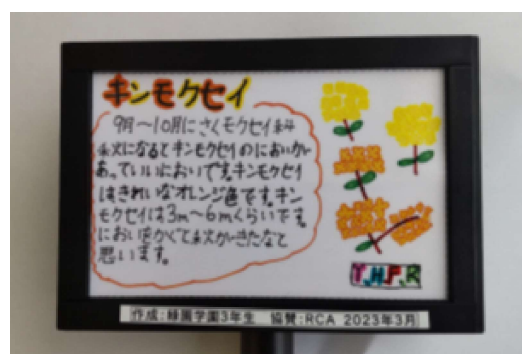


■義務教育学校緑園学園との協業

緑園学園総合学習の授業でRCA活動のQ&Aを実施。

四季の径の緑化に関心高く、児童の手作り樹木銘板を作成し、設置しました。

(写真は手づくり樹木銘板)



2. 会員相互の充実した交流を支援する活動

《 国際交流活動 》

年度を通じてコロナ禍にあり、十分な活動はできませんでしたが、感染対策やメールの活用など、色々と工夫して以下の活動を実施しました。



(1) フェリスとの交流

- ・英会話授業の中でラドバーンや緑園のまちづくりを取り上げていただき、受講生が4班に分かれそれぞれのテーマを決めて、調べた結果について英語で発表しました。発表の日には、RCAからは、国際交流委員なども招かれ講評を求められました。

・元フェリス留学生との交流

卒業後、海外に住んでいる元留学生たちとメールやグリーティングカードを通じて近況や情報交換など交流が続いています。

1月には、緑園を訪ねてきた元ドイツからの留学生と再会し、旧交を温めました。

また、3月2日、インドネシア留学生(フェリスの2014年留学生)が緑園を家族と共に訪ねて来てくれました。

(2) 姉妹住宅地ラドバーン

- ・ラドバーン小学校と緑園学園4年生との文通を側面から支援しています。
- ・毎年ラドバーン協会と年末年始のSeason's Greetings cardを交換しています。
- ・両住宅地の季節を撮影した写真を定期的に交換しお互いのホームページにアップしました。

《 広報活動 》

(1) 「RCAだより」の発行

RCAの広報紙「RCAだより」を2回発行し、全戸に配布すると共にホーム・ページ(緑えんネット「RCAコーナー」)にも掲載し住民への周知に努めました。

- ・5月号: 総代会要約版 イベント案内他
- ・10月号: 四季の径緑化活動、まちなみコンクール表彰、花と緑の会活動、防犯パトロールボランティア募集他

(2) 緑えんネットおよびRCAコーナーの運営

- ・緑園地域での各種行事予定、活動報告を緑えんネットに掲載致しました。

<http://www.ryokuen.gr.jp/>

また、記事の掲載が簡単な、Facebook「緑園ネット」も活用致しました。

<https://ja-jp.facebook.com/ryokuen.net/>

- ・サーバーの維持管理を委託、ホームページ「緑えんネット」のスムーズな運用に努めました。
- ・新環境のWordpressプロトタイプを充実化し、環境を構築しました。また、運営要領確立などを明確化するために必要な新環境の各種要件を詳細化しました。

(3) 緑園地域の広報活動

- ・イベント・行事のポスターを各丁目掲示板に掲示し、住民の皆様への周知を徹底。
- ・皆様からの街に関する各種「問い合わせ」に対し、判る範囲で回答、対応に努めました。
- ・RCAの各種活動について義務教育学校緑園学園（前期課程）へ訪問し、児童に向け紹介を実施しました。
- ・クラブハウス前のRCA所有掲示板の掲載物管理について運用方法を確立しました。

(4) RCAの活動内容を紹介するための活動

- ・フェリス女学院大学祭は、コロナ後初のリアル開催となりました。GIS研究会と共同で出展し、活動紹介を行いました。
- ・RCA駅前活性化PJ活動の一環として 数年前より進めていた 既存店舗活性化企画の成功例として「A.cafe × フェリス・エコキャンパス研究会コラボメニュー開発」の活動紹介パネル展示と、コラボメニューのひとつとしての「林檎のスコーン」をRCAブース前で販売し大盛況でした。



《 青少年交流事業 》

青少年のスポーツ活動を通じて地域貢献に取り組む「横浜ラービークラブ」を支援しました。
なお、当クラブは下記の事業に取り組みました。

(1) 地域のスポーツ振興と青少年の育成に貢献する事業

① スポーツ交流事業

- ・「スポーツ文化クラブ」の運営に協力
- ・緑園地区マラソン大会の運営に協力
- ・緑園学園開放スポーツ交流会の企画運営に協力

② 地域の青少年を対象とした野球大会の企画・実施事業

③ 地域の青少年を対象とした少年野球の指導、啓発事業

- ・緑園学園を会場に「ティボール教室」を実施

④ スポーツの指導者、審判員の派遣事業

- ・「横浜ラービークラブ杯野球大会」に審判員を派遣

⑤ 地域のスポーツ施設の保全及び管理事業

- ・緑園東公園の利用環境を整備・維持
- ・東花会の清掃活動参加
- ・緑園学園及び旧緑園西小学校の維持管理のための清掃実施

(2) 当法人会員相互の親睦並びに地域の青少年との交流を目的とした事業

① インターネットを使った野球交流事業

② 少年野球OBとの交流及び相互の親睦事業

《 子育て支援事業 》

将来の緑園の街を背負う子供たちの育成のため、緑園地域で子育て活動を行っているグループの内、ピッコロひろばの運営に充てる費用に対し支援しました。

その活動内容は、子育て中の養育者とその子供たちがいつでも気軽に立ち寄り遊んだり、友達を作ったり、子育ての悩みを相談できる環境作りに努力しています。



【活動内容】

2022(令和4)年度は、新型コロナウイルス感染症の流行が続き、ひろばの利用人数の上限を6組14名に制限し運営しました。しかし、コロナの流行も次第のにおさまり利用者の人数も月を追うごとに増えて来ました。とくに特に0歳児の赤ちゃん世代の利用が多い傾向が見られました。

なお、1丁目から7丁目までの親子に満遍なく利用されました。

- ・開催曜日: 月・水・木・金・土曜日の10:00～15:00
- ・開催日数: 198日
- ・利用人数: 2,666人
- ・利用組数: 1,254組

《 イベント開催支援活動 》

緑園地域における住民どうしの交流とコミュニティ形成の広がりを促進する目的で活動しているサークルに対し広報など側面からの支援や住民参加を対象に開催したイベント企画を支援しています。

なお、2022年度は、下記の3大会の支援と後援をし交流を図っていただきました。

- ・テニス大会後援(5月・10月)
- ・マラソン大会後援(2月)

3. 地域活動・行事への参画

(1) 地域との交流

- ・地域活動団体支援として「緑園サロン」、「緑園地区シニアクラブ連合会」活動を支援。
- ・緑園サロン: 高齢者向けにふれあいサロンにて交流を深めており、通常サロン(体操、歌唱、頭の体操、おしゃべり)等21回開催参加280名、その他クリスマス会、新年会、サロン寄席などで楽しんでいただきました。

(2) 小学校行事

- ・2022(令和4)年4月に開校した緑園学園開校記念として地域からステンドガラスの寄贈に賛同し寄付を行いました。

(3) 緑園会館運営委員会に委員を派遣

- ・集会施設(クラブハウス・自治会館)の維持管理を担当する会館運営委員会に理事を派遣し、建物の運営・維持管理に努めました。
- ・クラブハウス掲示板の維持管理を行いました。